

《 みはらしの丘の
“種まく人” 》

向寒の風物詩

ネモフィラ種まきが始まります

夏から秋にかけて緑色から赤色、そして黄金色へと移りゆくコキアが彩った「みはらしの丘」では、早くも春のネモフィラに向けた準備が始まっています。11月19日頃からはネモフィラの種まきが始まる予定。みはらしの丘の約3.5haに手作業で播種していく様子は、秋から冬へと向かう季節の移り変わりを感じさせるとともに、ネモフィラが丘一面を青く染める春への期待を持たせます。



みはらしの丘 (2018年11月30日撮影)

◆11月19日頃より種まき開始

ネモフィラの種まき作業は、11月19日頃より約1週間かけて行い、気温があまり下がらない11月中の完了を目指します。20cmの等間隔に目印となるラインを引き、米俵1俵分ほどの量の種を全て手作業で、延べ60人ほどで播いていきます。春に美しく咲きそろうように、日当たりなども考慮しながら、種を播く順序にも工夫しています。

<ネモフィラ> 場所:みはらしの丘 植栽面積:約3.5ha 本数:約450万本 見頃:4月中旬~5月上旬
品種:インシグニスブルー ムラサキ科(旧ハゼリソウ科)ネモフィラ属の一年草



目印のラインを引く(2018年11月27日撮影)

◆約半年間かけて大切に育てる“青の絶景”

種まきが終わり 12月に入ると、ネモフィラの株を冬季の低温や霜から守るための“霜除けシート”を設置します。ネモフィラの小さな芽が出始めたみはらしの丘一面に、延べ100人以上の手をかけて手作業で設置していきます。丘一面が真っ白なシートに覆われた様子は、まるで冬のゲレンデのようで、本公園ならではの冬の風景としてお楽しみいただけます。シートの下で冬を乗り切ったネモフィラは、4月中旬~5月上旬になるとみはらしの丘一面に咲き広がり、“青の絶景”として訪れる人を出迎えます。



一面シートに覆われた丘 (2018年12月24日撮影)

◆みはらしの里 春の風景を彩るナノハナ・レンゲ

みはらしの丘のふもと、古民家が佇む「みはらしの里」の畑では、春に向けてナノハナとレンゲの播種を行いました。春になると、古民家前に黄色やピンクのやわらかな彩りを添えてくれます。ネモフィラと開花時期が揃うと春色のコントラストもお楽しみいただけます。

<ナノハナ> 場所:みはらしの里 植栽面積:約4,700㎡ 見頃:4月中旬~下旬
<レンゲ> 場所:みはらしの里 植栽面積:約3,300㎡ 見頃:5月上旬~中旬



ナノハナとネモフィラ(2019年4月22日撮影)

Information

みはらしの丘で採取したコキアの一部は、干支の巨大地上絵の材料に使用します。

公園公式SNSもご覧ください



お問い合わせ 国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報係 尾澤・星

TEL:029-265-9001 FAX:029-265-9339

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

[https:// hitachikaihin.jp](https://hitachikaihin.jp)